

BOHOL

Philippines

フィリピン屈指の大部、群れポイント、バリカサグでは
ギンガメアジのトルネードの衝撃的インパクトに
毎ダイブ釘付けになった。
陸上では、世界最小のメガネザル、
ターシャのキュートさに萌える。
マクタン取材に引き続き、
今度はBLUE CORALのボホール支店に滞在して
同島周辺のダイビング取材を行った。

Photo & Text Takaji Ochi



Special Thanks BLUE CORAL

Design Sana☆

一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超ギンガメトルネード!

海風に運ばれ、雲を眺めてくつろぐ時間



バンカーボートの船首に座って、ベタ風の海を疾走する。とても贅沢で幸せな時間が流れる



外観も特徴的なバンカーボート

Section.1 僕が大好きなバンカーボートの話

バンカーボートは、ベタ風の海を疾走する。何度も書いていることなのだけど、ダイビングに行くとき自分が一番好きな船は、このフィリピン特有のバンカーボート。もちろん、風というコンディションがあっての事なのだけど。

マクタンからボホールまでは、右に南北に細長いセブ島、左にイビツな楕円形をしたボホール島に挟まれた、タニオン海峡（Tanon Strait）を移動していくために、台風などの影響で風の方向が南北から強く吹かない限りは、ほぼ安定したコンディションが続く。

日本からボホールに行くには、マニラを経

由して国内線でボホールの中心地タグビラランの空港に入るルート、セブから高速船で入るルート、そしてバンカーボートに揺られ、途中でダイビングと周囲の景色を楽しみながらのんびりと移動するルートがある。

「移動時間を短くして多く潜りたい」という人は、前の二つの手段でボホールへ入るのが良いのだけど、バンカーボート好きの自分としては、時間的余裕があるのであれば、三番目の方法をおすすめしたい。

僕が好きなのは、船首か、タンクなどの機材を置く場所のもう一段上に腰掛けてipodで

音楽を聞きながら、風景を眺めること。この日僕がその場所に座ったのは、今回モデルを担当してもらう、ガイドのアンナちゃんと少し打ち合わせがしたかったからだ。

BLUE CORALのオーナーガイドのヒロさんは彼の定位置である、後方のキャプテンの操船室上のサンデッキで、サングラスをかけて前方を見据えている。まるで船と一体化したように見えるその姿は、僕に妙な安心感を与えてくれる。

ある程度打ち合わせが終わって、のんびり風景を眺めながら音楽でも聞こうかと思った



01/ 船と一体化したようなヒロさんの勇姿
02/ バンカーボートは、水中からも絵になる

のだけど、彼女は僕の側に立ち続けていたので、他愛も無い会話を続けた。振り返ると、ヒロさんは同じ場所に仰向けに寝転がって、本を読んでいた。これも今となっては、フィリピンでの見慣れた光景の一つになった。

夏の雲が島を覆う景色の中、ゆる～い感じにくつろぐ皆の気分を害することなく、バンカーボートは、適度な海風を僕たちに提供しながら進んで行く。それがすごく、心地よい。



02

一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超 ギンガメトルネード!
WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]



Information Link
<http://www.bluecoral.jp>

関連情報HPへ



こんなギンガメアジの群れに巻かれてみたい



03

Section.2

凄すぎる！ 「超」ギンガメアジのトルネード

ボホールエリアでの目玉と言えば、バリカサグ島のバラクーダやギンガメアジの群れ。この群れの凄さが、フィリピンで最も人気のあるダイビングスポットの一つとして君臨している所以でもある。

「これは、マジで凄い！凄すぎる！」。あちこちの海でギンガメアジの群れは撮影してきているから、ちょっとやそっとのことで動じる事はないのだけど、今のバリカサグのギンガメアジの群れは、はっきり言って「凄い！」。何が凄いかって、その群れの巨大さと、密集度。それに何より、どんなに近寄っても全く逃げない。自分の中で、過去に見たギンガメアジの群れランキングを勝手に作るとしたら、ベスト3、否、諸々の要素を加味したら、多分グランプリと言っても過言では無い。

もちろんこの状態が何年間も続くとは限らないだろうけど、特に水中写真を撮影するダイバーにとっては、最高の被写体だ。おまけに、バリカサグには巨大なアオウミガメが多数生息しているようで、「主みたいな巨大なのは、2個体いますね」とBlue Coralのガイドの斉藤さんが教えてくれたが、それ以外の個体もそれなりのサイズ。

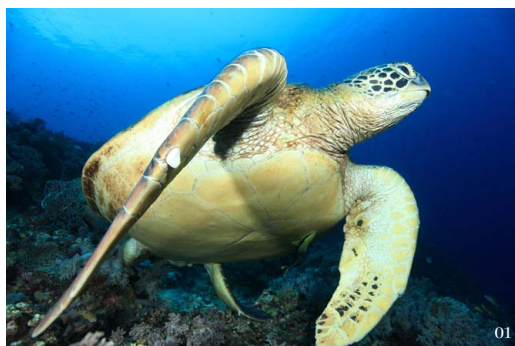
それが、この巨大なギンガメアジの群れに向かって泳いで行くのを見て「あ！このコラボ

の決定的瞬間を押さえない！」という衝動に駆られ続けた。そんな事もあり、今回バリカサグのブラックフォレストというポイントを、何度もリクエストして潜らせてもらった。しかし、狙いはそれだけでは無かった。このギンガメアジの群れの存在を知る前から、どうしてもここを多く潜りたかった理由がある。

それが以前から「幸せを呼ぶ」と言われている、ゴールデンバラクーダの存在だ。2006年にバリカサグで遭遇して以来、会っていない。現地の他のサービスで情報を調べても、もう最近では遭遇のチャンスは相当に少なくなってきているようだった。年に1回とか2回、そんな感じだ。そんな状況でありながらも、今回も淡い期待をして望んだが、遭遇することにはなかった。まあ、もう十分に「幸せ」だという事で納得はしてみたが、やっぱりもう一度会ってみたい。



04



01



02

01/ 主のような巨大なアオウミガメ

02/ バラクーダの群れとの遭遇率も高い

03/ 前から突っ込んでもまったく動じない、ギンガメの群れ

04/ モデルのアンナちゃんとほぼ同じサイズのアオウミガメ

一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい

超 ギンガメトルネード！

WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]



Information Link
<http://www.bluecoral.jp>

関連情報HPへ

ギンガメアジの群れと
アオウミガメのコラボの
決定的瞬間



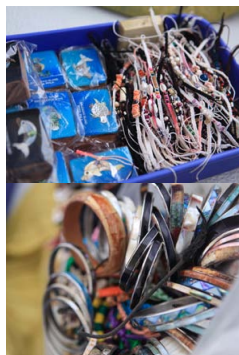
一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超 ギンガメトルネード!
WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]



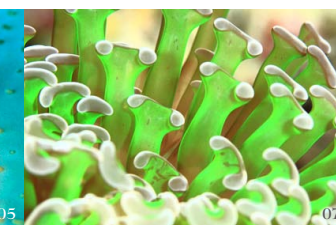
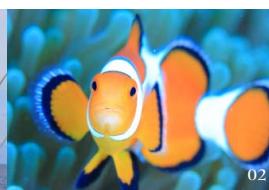
ギンガメやバラクーダだけじゃない

ダイビングを終えてボートに戻ると、お土産
売りの現地のおばちゃんたちが乗り込んでき
ていて、両手にお土産をぶら下げて皆を出迎

ランチタイムのバンカーボート上での食事
も楽しみの一つ。特にデザートのマングローブは、
こんなに食べていいのってくらいに食べさせて
くれる。まあでも、人数が多いときには、無
理なのかもしれないけれど。そういう意味では、
人の少ない時期を狙って来るのも悪くないか。
少人数の雲囲気を楽しんだり、スタッフとの
親交を深めるチャンスでもある。ダイビングも
マンツーマンで、マクロ生物など教えてくれる
し、撮影したければ、自分のペースに合わせ
てくれるなど、特典もいっぱいだ。



リーフ上のサンゴには、スズメダイやハナダイ系の魚たちが乱舞する



- 01/船上でのランチタイムも楽しみの一つ
02/イースタンクラウンアネモネフィッシュ
03/フィリピンズズメダイ
04/ウミウシの個体数も多い
05/セムシウミウサギガイ
06/07/08/マクロの世界もカラフルだ
09/レティキュレイトボックスフッシュのメス

一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超ギンガメトルネード!
WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]

フィリピンの固有種、スプリングーズダムセルが
こんなに群れているのが凄い

発光ブルーと黒の美しきコンビネーション

一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超 ギンガメトルネード!
WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]



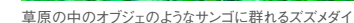
草原のような海草のリーフが僕のお気に入り

このカピラオでのお気に入り、海草のリーフ。草原のように広がるその景観は、清涼感を感じさせてくれて、自分には熱帯の海

バリカサグの無数のスズメダイやハナダイ
たちの豪快な乱舞とは違い、なんだか和風
庭園の枯山水のように点在しているところは
しとやかな感じで、癒しを感じる。ゆったりとし

ボホール島の隣、ダイバーズリゾートの並ぶバングラオ島の海岸線に沿ってもポイントが点在している。基本はマクロ。アイドルのカニハゼやニチリンダテハゼ、キャンディーケインドワーフゴビー、25mくらいの砂地の傾斜

ここでは、個人的に一番好きなスズメダイ、バーチークダムゼルの幼魚がいたり、深い青と黒の体色が綺麗なスプリングァーズダムゼルがサンゴの上に群れていたり、マクロを楽しみながら、まったくダイビングが楽しめる。



06/ヒレナガネジリンボウ

爽やかな海中の草原に漂う

一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超ギンガメトルネード!
WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]



奇妙な形をした山が林立するチョコレートヒル

Section.5 世界最小のメガネザル、ターシャに萌える

ダイビングを終えて最終日、ボホルの陸の撮影に向かった。ボホルの陸の見所と言えば、なんと言っても、世界最小のメガネザル、ターシャと、チョコレートヒル。Blue Coralでは、ダイビング後の時間を利用して、この二つを見学できるランドツアーも企画している。

車に揺られること1時間。ロボックにあるターシャコンサベーションセンターに到着した。網で仕切られた広い敷地内には、体長20～30cmのターシャが何匹かいて、観光客はその網の中に入り、目の前で見る事ができる。ターシャはそれぞれの個体が自分のテリトリーを作るそうで、どのエリアにいるターシャがどの個体なのかは、いる場所で分かるのだそうだ。

夜行性のメガネザルだけあって、昼間に見に行っても、木の枝にしがみついて、微動だにしない。じっと見ていると、最初は大きな目を見開いてこちらを見ていたのだけど、眠く

なって、徐々にまぶたを閉じて行くシーンを激写。なんかちょっと邪悪なものがターシャに乗り移っちゃった？系のその顔にハマリ、ますますターシャに興味を持った。

その後に訪れたのは、これもまたボホルの名所の一つ、チョコレートヒルだ。前々から一度は見てみたいと思っていた光景。タグピラランの町からは車で53km。4月から6月の乾季になると、丘を覆う草が枯れてチョコレート色になることから、この名前がついたそうだ。高さ20mから140mの小山1268個が360度に林立している姿は、奇妙なもの。サンゴ礁の石灰岩から形成されているこれらの奇山がどのようにして形成されたかは、いまだに解明されていないそうだ。

アフターダイブや最終日に足早に巡る陸上観光だけど、やはりこのターシャとチョコレートヒルは、是非見に行くことをお勧めしたい。



こうやってみると、とっても可愛いんだけど……



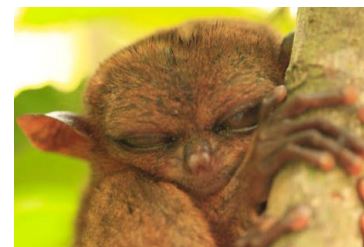
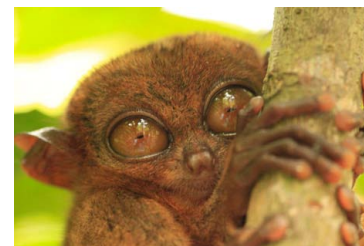
01/ターシャのいる
コンサベーション
エリア入口

02/Tシャツなどの
おみやげも充実

03/アンナちゃん
にも何か乗り移っ
ちゃった？

邪悪なものが
ターシャに
乗り移っちゃった？

こちらも
何か乗り移ってる？！



一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超 ギンガメトルネード！
WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]



Information Link
<http://www.bluecoral.jp>

関連情報HPへ



BLUE CORAL おすすめのホテル



ヒデncoderal Hidden Coral Resort

BLUE CORALのランチが入っている、客室数7のこじんまりとしたリゾート。

ボホール島の中心地、タグビラランの町の喧噪からは離れた、パングラオ島の北東側に位置する。岩礁の上に立っているのでビーチは無いが、のんびりとアフターダイブを楽しみたい人におすすめ。



メトロセンターホテル Metrocentre Hotel and Convention Center



タグビラランの中心地にあるビジネスホテル。レストランやバーの他にジム、24時間オープンコンビニなどが併設されていて便利。町の中に食事に出かけるにも最適。メインストリートに面した部屋は、車の行き交う喧噪が少しうるさいので、音が気になる人は反対側の部屋がおすすめ。コンビニにはターシャやチョコレートヒルの関連グッズ等のお土産も。



The hotel where is recommended in Bohol
by BLUE CORAL.



シャーウッドベイアクアリゾート Sherwood Bay Aqua Resort & Diving School

ヒデncoderalの隣にあるリゾート。客室数は12部屋。レストラン、バー、スイミングプールがある。ワンランク上のリゾートライフを楽しみたい人におすすめ。オーナーが日本人で、その男性とイギリス人の奥さんの娘リサさんがマネジメントを努めている。日本語堪能なので、安心だ。敷地も広く、開放感がある。プールサイドから眺める夕日は最高。



一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超 ギンガメトルネード!
WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]



Information Link
<http://www.bluecoral.jp>

関連情報HPへ



ビギナーのゲストを連れて、ギンガメの群れに飛び込む



BLUE CORALはゲストもサービス精神旺盛？飛び込んでくれてありがとうございました



こんな巨大なヒトデもいます



BLUE CORAL

<http://www.bluecoral.jp>

今回のボホールステイでのロケも、マクタン同様に、BLUE CORALの協力で行われた。バンカーボート6隻を所有し、マクタン、ボホールの他、ドゥマゲッティに支店を持つ。セブ島周辺のダイビングエリアを網羅して、ゲストへのニーズに応えるべく活動を展開中。体験、講習、ビギナーからベテランまで、ダイビングから、アフターダイブのケアまで全部おまかせ！



エントリー前の雰囲気も和やか



一生に一度と言わず、何度でも巻かれてみたい
超 ギンガメトルネード!
WEB-LUE 2012. Winter [Bohol]



Information Link
<http://www.bluecoral.jp>

関連情報HPへ